

石巻にできた震災伝承スペース つなぐ館

場所

宮城県石巻市中心市街地に2014年4月にオープンした震災伝承展示スペース。AR(拡張現実)技術を利用したタブレット端末向けアプリを導入した「防災まちあるき」や、「震災の語り部」プログラムなどの拠点として、そして地域の人たちが集う場所として、記憶の伝承と防災について考える場を目指す。月・日休館 11:00~17:00(入館無料)

【一般社団法人みらいサポート石巻】

宮城県石巻市立町1丁目3-30 TEL 0225-98-3691

http://ishinomaki-support.com/category/memory_cat/311memorial/



膨大なデジタルデータを一元検索 東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」

デジタル

5年で急速に失われると言われる震災の記憶を残すべく、国立国会図書館が官民の様々な機関と連携し取り組む大規模デジタルアーカイブ。東日本大震災に関する音声・動画、写真、ウェブ情報などのデジタルデータや関連する文献情報資料約266万件(平成26年5月末現在)を一元的に検索・活用できる。



【国立国会図書館 電子情報部国立国会図書館東日本大震災アーカイブ担当】

TEL 03-3581-2331 <http://kn.ndl.go.jp/>

津波到達ラインを桜で示す 桜ライン311

活動

東日本大震災を後世に伝えるために、陸前高田市内約170kmに及ぶ津波の到達ラインに10mおきに桜を植樹するプロジェクト。これまでに169か所で718本の桜が植樹された。慰霊、記憶の伝承、減災の活動として、そしてその桜が後世にまちの誇りとなることを目指す。今年3月にはその活動がドキュメンタリーとして映画化され各地で上映や講演を行っている。



【認定特定非営利活動法人 桜ライン311】 <http://www.sakura-line311.org/>